

長野県特別支援学校 ICT 通信

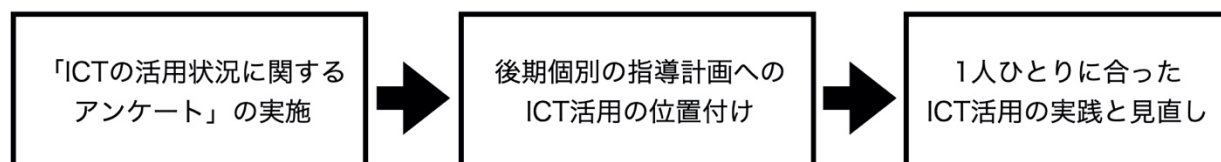
令和 5 年 2 月 13 日 第 3 号

長野県特別支援学校 ICT 活用推進担当者会

ICT の活用状況に関するアンケートを実施しました

長野県特別支援学校 ICT 活用推進担当者会では、児童生徒 1 人ひとりに合った個別最適な ICT 活用の充実を目指しています。そこで、令和 4 年 7 月に、県内の特別支援学校（小学部・中学部・高等部）に在籍する児童生徒 1 人ひとりの ICT 活用の状況について調査を実施しました。

これは、各校で行われている ICT 活用の実態を把握することで、児童生徒への個別最適な ICT 活用を進めるためのポイントを明らかにし、個々のニーズに合った ICT 活用が個別の指導計画へ適切に反映されることなどを目的としています。



アンケート結果と実際の活用の様子から

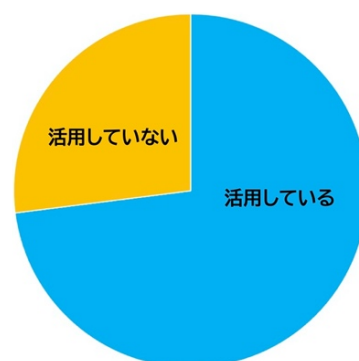
その 1 活用の有無

「学習場面や生活場面で ICT 機器を活用していますか」

- ・活用している（73%）
- ・活用していない（27%）

この結果から、調査を行った時点で、7 割を超える児童生徒が ICT 機器を活用していることがわかりました。また、残りの 3 割のうち約半数は、活用を始めるための準備中であることもわかりました。

質問「学習場面や生活場面で ICT 機器を活用していますか」

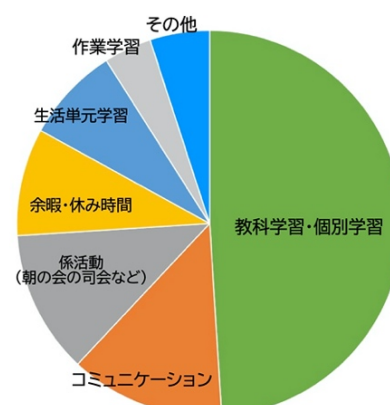


その 2 活用場面

「どのような場面で ICT 機器を活用していますか」

- ・教科や個別学習の時間（49%）
- ・コミュニケーション（13%）
- ・係活動（12%）
- ・余暇・休み時間（9%）
- ・生活単元学習（8%）
- ・作業学習（4%）
- ・その他（5%）

質問「どのような場面で ICT 機器を活用していますか」



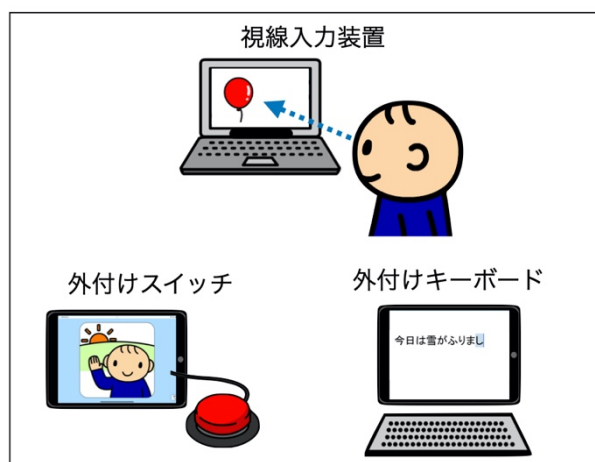
教科学習や個別学習では、理科の観察の時間にカメラ機能を使い、対象を拡大して観察するといった活用方法などがあります。また、コミュニケーションの場面では、「おはよう」の絵カードをタップすると、iPad から「おはよう」と音声が出るアプリを使って先生や友だちと挨拶ができるなどの活用方法があります。その他、係活動や作業学習など、いろいろな場面で ICT 活用が進んでいることがわかりました。



その3 入出力装置の活用

入出力装置についても調査を行いました。使われている主な入出力装置は、外付けキーボード、外付けスイッチ、視線入力装置などでした。

入出力装置を使うことで機器の操作が可能になる場合があります。必要な児童生徒に適切な入出力装置の導入が進むように、ICT 活用推進ブロックリーダーが各校を回って導入の相談に乗ったり、研修会を開いたりしました。



今後に向けて

現在、県内の特別支援学校では多くの場面でさまざまな ICT 活用が進んでいます。また、個別の指導計画へ ICT 活用を位置付けたことにより、個々のニーズに合った ICT 活用の場面が明確になってきました。長野県 ICT 活用推進担当者会では、これからも児童生徒 1 人ひとりに合った活用の場面が増えていくように、県内の ICT 活用の推進に取り組んでいきます。

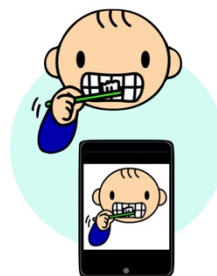
児童生徒のみなさんへ

たの つか iPad を楽しく使ってみよう！

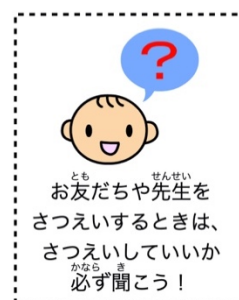
カメラアプリを使って動画をさつえいしてみよう



ダンスをさつえいしてみよう！
じょうず上手におどれているかな？



は 歯みがきをさつえいしてみよう！
みがきのこしはないかな？



文責：長野県特別支援学校 ICT 活用推進ブロックリーダー